



スキルアップでハイレベルな研究者へ

キャリアアップのためのヒント

第15回CSJ化学フェスタ・チュートリアル企画では、学生、若手研究者の皆様にキャリアアップ、スキルアップのヒントやアイデアを伝授します。今年も第一線で活躍する産学官のベテラン・若手研究者からキャリアデザインを学んだり、魅力的なプレゼン・論文による成果発信のコツを伝授したりする企画を用意しています。また、留学生やグローバルに活躍したい皆様のための英語での企画、博士学生のためのオールラウンドセッションなど、研究者としてのキャリア、スキルを磨くための企画が勢ぞろいしています。

はじめに

本企画では、学生・若手研究者に向けて、今後のキャリアアップやスキルアップに役立つ講演を用意しました。プレゼンや論文執筆スキルを向上させるためのアイデアやグローバルに活躍するためのヒントなどが満載です。また、博士課程の学生によるオールラウンドセッションや、留学生・海外に興味のある方に向けた英語で行う国際企画は、自身の研究をアピールするだけでなく、学生同士の交流を深め、知らない分野・世界を知ることができる場です。産学官の様々な人が集う化学フェスタで交流を深めてみませんか？

見どころ・聴きどころ

10月22日午前【人生は自分で切り開くぞ！博士取得後のキャリアプラン】

学生の皆様は、将来どんなキャリアプランを描いていますか？ 具体的な就職先を思い描いている人もいれば、まだ漠然としたイメージしか持っていない人もいます。修士課程を修了後、企業でのキャリアを考える方が多いかもしれませんが、急速な技術革新が進む現代社会では、単に技術に対応するだけでなく、革新的なアイデアや創造性を発揮する力がより一層求められています。そのため、創造力やリーダーシップを備えた人材への期待は高まっており、博士号取得者を積極的に採用したいと考える企業も増加しています。博士号はゴールではなく、取得することで新たなチャンスが大きく広がることは間違いありません。一方で、身近に博士課程進学者が少ない場合、博

士課程での生活や修了後のキャリアパスをイメージしにくいと感じる方も多いでしょう。そこで本企画では、博士課程を修了し、産学官の様々な分野で活躍されている若手からベテランの方々に登壇していただき、自身の経験やキャリアの中で培われた考えについて講演していただきます。最前線で活動する研究者や技術者の生の声を聴くことで、学生の皆様が自分の将来を切り拓くためのヒントを得られることを期待しています。

10月23日終日【博士課程学生オールラウンドセッション】

本企画では、博士課程の学生の皆様に、ポスター発表と併せて、口頭発表を行う機会を設けています。CSJ化学フェスタは産学官の様々な人が集う場であり、産業界を含めた聴講者のほかに、発表者も研究分野が多岐にわたる中で口頭発表を行っていただきます。普段の専門分野の研究者のみが集まる学会とは、視点の異なる質問がくるかもしれません。聴衆が異なることを意識して、多様な分野の人にアピールする発表は、貴重な経験になります。発表準備は大変ですが、専門外の人にも自分の研究のどこがすごいのかをわかりやすくアピールするためには、研究背景や結果、研究成果の意義をどのように伝えればよいのかを考えることが重要です。今後、様々な場面で自分の研究を発信する場が増えていく皆様にとって、ステップアップのきっかけとなることでしょうか。例年、聴講者だけでなく、本企画で発表する博士課程学生からも多くの質問があり、質疑応答の時間だけでなく、時にはセッション終了後にも活発な議論が行われています。分野

外の研究者からの質問は、多くの示唆を与えてくれるものと思います。この機会に他大学・他分野を研究している学生との交流を深めてみませんか？ 本企画では産学官の研究者による審査があり、優秀な講演に対して「CSJ 化学フェスタ博士オーラル賞」を授与します。

10月24日午前【化学のプレゼンに役立つ KNOW-HOW】

自らの研究や業績を正しく評価してもらうためには、専門性の高い内容であっても、わかりやすかつ印象的に発信する力が求められます。毎年恒例となっている本企画では、化学分野におけるプレゼンテーション力を高めるための4つの講演を予定しており、今年も実践的かつ魅力的な内容が揃いました。まず、効果的なプレゼン資料の作成に関する講演では、聴き手の理解と関心を引き出すためのスライドデザインや構成の工夫について、具体的な手法を紹介します。続く講演では、効果的なプレゼンテーション方法として、発表者自身が体感しながら習得できる実践的な話し方や構成技術について講演していただきます。さらに、効果的な英語プレゼンテーションに関する講演では、日本人が陥りやすい表現や構成上の課題に焦点を当て、英語スライドの作成法を伝授します(図1)。そして、効果的に社会へ発信する英語論文の書き方に関

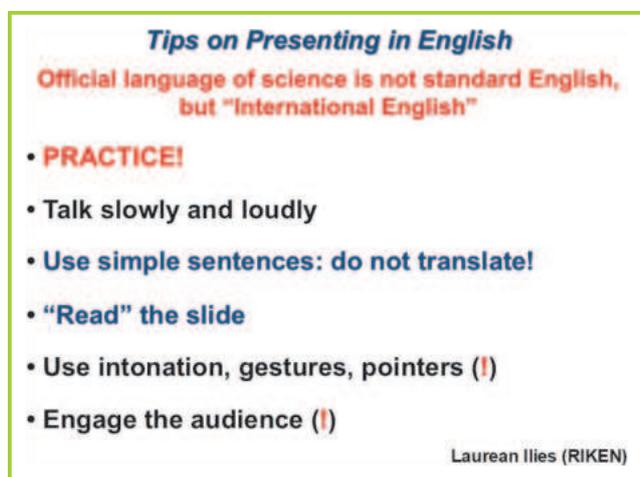


図1 英語発表のコツ
(イラスト提供: 理化学研究所・ラウレアン イリエシュ チームディレクター)

する講演では、国際的な読者に向けて研究成果を的確に伝えるための英文執筆のコツや、インパクトのある論文構成法について紹介します。

本企画を通じて、学生・研究者の皆様が自身の成果をより魅力的に、そして効果的に伝えるための多くのヒントを得ていただければ幸いです。

10月24日午前【Let's Enjoy Chemistry! ~From Japan to the World~ / 日本と世界で化学を楽しもう!】

CSJ 化学フェスタ恒例の企画となった講演から質疑まですべて英語で行う本企画は、今年で8回目を迎えます。毎年、海外から来日して産学官で活躍する研究者や日本から海外留学を経験した研究者に、「Let's enjoy chemistry!」を目指して、研究とキャリアを織り交ぜた内容で講演していただきます。今年も、海外と日本の幅広い出身地の産学官のベテラン・中堅・若手研究者から、研究歴、研究内容の変遷、良かった体験、苦労した点、研究環境の違いなど、化学者としてグローバルに活躍するための秘訣を聴くことができます。海外からの留学生はもちろん、留学を考えている日本人学生や研究者、英語でCSJ 化学フェスタを楽しみたい皆様にも役立つ企画です。近くの留学生、留学に興味のある学生や研究者の皆様にも、ぜひお声がけ下さい。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

おわりに

どの企画も学生に限らず、若手研究者、そして留学生の方にとっても、魅力的な講演がそろっています。本企画が皆様の研究者・技術者としての人生の一助となればうれしく思います。

企画担当委員: 池田 将 (岐阜大学), 石田玉青 (大阪公立大学), 緒明佑哉 (慶應義塾大学), 高島義徳 (大阪大学), 田中敬二 (九州大学), 田辺佳奈 (AGC), 鳥居 肇 (静岡大学), 西本泰三 (三井化学), 廣原志保 (沖縄工業高等専門学校), 藤田恭子 (東京薬科大学), 矢島知子 (お茶の水女子大学)

© 2025 The Chemical Society of Japan